



# 明園

あか  
明るい子どもを育てる  
なか  
仲のよい子どもを育てる  
たくましい子どもを育てる

「あなた」の 明園小

検索



☎(011)742-6521 📠(011)742-9312

## 「令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果から」

日頃より本校の教育活動に対しまして、温かい御理解と御協力をいただきありがとうございます。

さて、小学校6年生を対象として文部科学省が4月に実施した「全国学力・学習状況調査」における本校の概要についてお知らせいたします。

この調査は、国語・算数・理科の学力、そして生活習慣や学習状況に関するものです。限られた内容の調査ですので、子どもたちの学力全体の状況を捉えている訳ではありませんが、この結果を本校の教育活動に生かしていきます。

### 【国語】

#### 本校の概要

##### 【領域】

〔知識及び技能等〕の「言葉の使い方に関する事項」は、全国平均とほぼ同程度である。

〔知識及び技能等〕の「情報の扱い方に関する事項」は、全国平均とほぼ同程度である。

〔思考力、判断力、表現力等〕の「話すこと・聞くこと」は、全国平均とほぼ同程度である。

〔思考力、判断力、表現力等〕の「書くこと」は、全国平均とほぼ同程度である。

〔思考力、判断力、表現力等〕の「読むこと」は、全国平均を下回っている。

#### 今回の調査における課題

◆学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うこと。

◆比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。

◆資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。

◆引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

◆文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。

#### 改善の方向

◆文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く学習活動の充実。

◆文や文章の中で比喩や反復などの表現の工夫やその効果を確認する学習活動の充実。

◆読者の視点を意識し、理由や具体例を示しながら、図や表と文章を適切に組み合わせる学習活動の充実。

◆文章全体を構造的にとらえ、事実・意見・感想を区別して要旨をまとめる学習活動の充実。

## 【算数】

### 本校の概要

#### 【領域】

「数と計算」は、全国平均とほぼ同程度である。

「図形」は、全国平均とほぼ同程度である。

「測定」は、全国平均を下回っている。

「変化と関係」は、全国平均とほぼ同程度である。

「データの活用」は、全国平均を上回っている。

### 今回の調査における課題

◆立方体の体積を求めること。

◆直方体の箱の形を構成する面の特徴に気づき、長さを求めること。

◆百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めること。

◆正しく整数と小数の減法の計算をすること。

◆示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めること。

### 改善の方向

◆宿題プリントやドリルパークを用いた、既習の学習の学び直す学習活動の充実。

◆複数の長さから底辺や高さの位置関係に着目し、図形を構成する要素に必要な辺を選び出す学習活動の充実。

◆実物に触れ、身の回りの物を図る体験学習の充実。

◆図や式などを用いて、二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考える学習活動の充実。

◆具体的な数字や言葉を読み取り、複数の条件を組み合わせたり条件に合う解を求めたりする学習活動の充実。

## 【学校や家庭での学習や生活の様子】～児童質問紙より～

### <生活習慣について>

「学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか」で、頻繁に話している児童の割合が、全国の割合より高かったです。家庭で安心して相談できる様子が見られます。

一方で、「朝食を毎日食べていますか」と「毎日同じくらいの時刻に起きていますか」で、規則正しい生活を送っている子の割合が全国よりも低い傾向がありました。学習に集中して取り組むことができるように、引き続き御協力をお願いします。

## 【学校や家庭での学習や生活の様子】～児童質問紙より～

### ＜ICT の利用について＞

「PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成することができる」

「ICT 機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができる」

「ICT 機器を使ってうまく情報を集めたり、整理したり、発表したりすることができる」

と回答した児童の割合が、全国の割合より高かったです。

ICT機器が学習のツールとして定着し、楽しみながら学習を進めていることがうかがえます。

今後も一人一台端末を効果的・継続的に活用することで、個別最適な学びや協働的な学びの充実につなげていきます。

### ＜学び方について＞

「授業は自分にあった教え方、教材、学習時間などになっている」

「授業や学校生活では友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」

「学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」

と回答した児童の割合が全国の割合より高かった一方、「分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる」と回答した割合が低かったです。

仲間と協力して学ぶことができるよさを生かしながら、身に付いた学び方を生かすことや、解決に向けて自分に合った学び方を選択する学習活動の充実を目指していきます。

## 【学校や家庭での学習や生活の様子】～児童質問紙より～

### <自分自身について>

「自分には、よいところがある」

「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」

「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」

について肯定的に捉えている児童が全国の割合より高かったです。一方で「友達関係に満足している」について肯定的に捉えている児童が全国の割合より低い傾向がありました。

子どもたちに向けて、教職員が継続して自己肯定感を高める関わりを行うとともに、授業で学び合う活動を通して、子どもたちが互いのよさや成長を認め合う姿勢を育むことができるように、活動の充実を図っていきます。



今回の結果を参考にしながら、学校では引き続き「学ぶ力」「豊かな心」「健やかな体」の育成に取り組んでまいります。御家庭でも、学習の基本となる生活習慣の形成に、より一層の御理解と御協力をお願いいたします。